

第 4 次安城市男女共同参画プラン（案）パブリックコメント意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 平成 29 年 12 月 20 日（水曜日）～平成 30 年 1 月 18 日（木曜日）
- (2) 周知の方法 広報あんじょう（12 月 15 日号）及び市公式ウェブサイト、フェイスブック、市役所デジタルサイネージ、ダイレクトメール（各町内会、市内幼稚園・保育園、ワーク・ライフ・バランスの実現への取組をしている企業、さんかく 21・安城加盟団体、市民交流センターに登録している団体のうち男女共同参画に関わる活動をしている団体）
- (3) 閲覧場所 市民協働課、各地区公民館、アンフォーレ、市民交流センター、市公式ウェブサイト
- (4) 意見を提出できる人 ①市内に在住・在勤・通学している ②市内に事業所などを有する ③市内で活動している ①～③いずれかに該当する人
- (5) 意見提出方法 住所・氏名とご意見を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで市民協働課へ提出

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出人数 2 名、2 団体
- (2) 意見総数 51 件
- (3) 提出方法 電子メール 2 件 持参 2 件
- (4) 結果の公表 広報あんじょう（3 月 15 日号） 市公式ウェブサイト、市民協働課、各地区公民館、アンフォーレ、市民交流センター

【意見区分】

- A：ご意見を受けて加筆・修正したもの (19 件)
- B：ご意見の考え方が現行案に含まれていたもの (0 件)
- C：現行案とおりとしたもの (21 件)
- D：案に関連する質問など (11 件)

3 提出された意見及び市の考え方について

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
1	P3 4 行目、9 行目	アンケート調査及びヒアリング調査の西暦は平成 28 年(2017 年)を平成 28 年(2016 年)にするべきではないでしょうか。	ご指摘のとおり 2016 年に、修正します。	計画の内容に反映します。 (反映内容) P3 アンケート調査及びヒアリング調査の実施	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
				年を平成 28 年(2016 年)の表記に修正します。	
2	P9④子育て・介護の状況について 8～10 行目	<p>「介護を行っている人の性別は女性が 65.7%となっており、配偶者や子ども（娘）など、女性が介護を担う傾向にあることがわかります。」という記載があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65.7%は傾向という表現以上のものがあると思われます。 ・子ども（娘）以外にいわゆる「嫁」の立場を表記してほしい。よって以下のとおり修正してはどうか。 <p>「介護を行っている人の性別は女性が 65.7%となっており、<u>配偶者（妻）</u>や子ども（娘）、<u>子どもの妻（嫁）</u>など、女性が介護を担う<u>主たる立場</u>にあることがわかります。」</p>	女性が介護を担っている現状があると考えため、「嫁」及び「割合が高い」等の記載を追加し、「傾向」の言葉は削除します。	<p>計画の内容に反映します。</p> <p>(反映内容)</p> <p>P9 安城市の現状と課題 8 行目から</p> <p>「介護を行っている人の割合は女性が 65.7%となっており、<u>被介護者の、配偶者（妻）</u>や子（娘）、<u>子の配偶者（嫁）</u>など、女性が介護を担っている割合が高いことがわかります。」の表記に修正します。</p>	A
3	同上	<p>「介護を行っている人の性別は女性が 65.7%となっており、配偶者や子ども（娘）など、女性が介護を担う傾向にあることがわかります。」とありますが、</p> <p>「…<u>配偶者（妻）</u>や子ども（娘）、<u>子ど</u></p>			A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		<p><u>もの妻（嫁）など、女性が男性より介護を担っている割合が高いことがわかります。」に変更をお願いしたいです。</u></p> <p>女性の配偶者は主に妻なので、括弧書きで妻を加えていただきたいです。また、嫁が介護を行うことも多いので、子どもの妻（嫁）を加えていただきたいです。</p>			
4	P12④地域活動 について 下から6行目	<p>「現在の町内会の会長、副会長はほとんどが男性だが、女性の参画は必要とされている。」</p> <p>このアンケート結果から「女性の参画は必要とされている」と読み取ることは難しいのではないのでしょうか。必要とされているのであればもっと多くの女性が意思決定の立場についているはずで、97.0%が回答している事実のみを伝えるべきだと思います。</p> <p>(修正案)</p> <p>「現在の町内会の会長、副会長はほとんどが男性だが、女性の参画は必</p>	町内会アンケートにて、現状では女性は、町内会の意思決定の場への参加が出来ていないが、女性の参加が「必要」「どちらかといえば必要」と回答した割合が97.0%であるため、大多数の町内会において女性の参画が望まれていると考えます。	計画の内容に反映しません。 (反映内容) P12 第2章(2)④地域活動について(下から6行目) 「 <u>女性の参画が望まれている。</u> 」に修正します。	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		要と答えている。」			
5	P12④地域活動 について 下から5行目	女性は副会長で5.9%となっています。となっていますが、会長は0%を加え、会長・副会長以外の町内会の役職者の割合もわかれば、加えていただきたいと思います。	2016年実施のアンケートでは、役職別の女性率をお聞きしましたが、各町内会で、呼び名の違いや兼務があるため、公表できる数値はありません。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
6	P13⑤DVにつ いて	「被害者の半数は誰にも相談しない。」とありますが、どこに相談すれば良いのか、わからない人が多いと思います。相談窓口などを広報やポスターなどでわかりやすく知らせていただけるとありがたいです。	相談窓口の周知は、市広報及び市公式ウェブサイトへ掲載し、DVミニパンフレットや男女共同参画パンフレット等で啓発をしています。		D
7	P14⑦企業ヒ アリング 10行目	「家事・育児を行う社員が管理職に就くことの困難さがある」とありますが、家事・育児を行うのは女性だという先入観が読み取れます。 「家事・育児を主に行う女性社員が管理職に就くことの困難さがある」としてはどうか。	より分かりやすくするために「介護など」を追加し、「主に家庭的責任を負う女性」の表現に改めます。	計画の内容に反映します。 (反映内容) P14 10行目から 「… <u>主に家庭的責任（家事・育児・介護など）を負う女性社員が管理職</u> に就くことの困難さがあるようです。」に修正	A
8	同上	家事・育児を行う社員が管理職に就くことの困難さがあるようです。とありますが、「家事・育児・ <u>介護など</u>		に就くことの困難さがあるようです。」に修正します。	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		<p>を主に行う社員」と変更していただきたいです。今後は介護も大きな課題になってくると思われます。また、夫婦が分担していることも多いので、「主に」を追加していただきたいです。</p>			
9	P15⑦団体ヒアリング 最終行	<p>「様々な少数者」とありますが、それは具体的に誰のことなのか明記していただけるとわかりやすくなると思います。たとえば、女性、外国人、LGBT など。</p>	<p>ここで言う少数者とは、LGBT、外国人、障がい者等をイメージしています。そこで、具体的な例として「LGBT など」を加えます。</p>	<p>計画の内容に反映しません。 (反映内容) P15 最終行 「また、<u>LGBT(※)など</u> 様々な少数者も含め…」 に修正し、一番下に <u>LGBT の用語説明を加</u> <u>えます。</u></p>	A
10	P16 第3次プランにおける達成状況 下から2行目	<p>「女性関連図書」とありますが、ジェンダーバイアスを感じる表現です。男性関連図書とは言わないと思います。第4次プランP25の表現のほうが適切だと思います。 「男女共同参画に関する図書や関連雑誌、DVDなど」にしてはどうか。</p>	<p>この指標部分は、2013年に策定した現行の3次プランに記載されている内容のため、修正することはできません。</p>	<p>左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。</p>	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
11	P 17 基本施策 II-1 2 項目目	「法令・条例に基づく審議会等における女性委員の割合」の評価はBではなく、講座数同様Cだと思います。	P16 に記載しています評価基準に基づき、2016 年度実績値が 2011 年度よりも改善されているため、評価はBとなります。 (参考) 「法令・条例に基づく審議会等における女性委員の割合」 2011 年度の実績値 (25.6%) 2016 年度の実績値 (27.4%)	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
12	P 17 基本施策 II-3 1 項目目	女性が会長を務めている老人クラブ数は、少しずつ増えていますが、全体の数がわかれば、母数に加えていただきたいと思います。	老人クラブ数は年毎に変動しており、母数が増えれば、ここでも実績を増やしていくことが重要だと考えます。 (参考)老人クラブ数 2011 年度 (108 クラブ) 2014 年度 (99 クラブ) 2016 年度 (102 クラブ)	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
13	P 18 評価結果まとめ	2017 年度の目標値に対する評価はこの通りだと思いますが、2011 年度の実績値より下がっている項目についての評価、ないし問題提起が必要だと思います。	評価結果のまとめは、分野ごとに比較した総括を示しています。2011 年度の実績値より下がっている項目は主にアンケート結果からの市民意識であり、啓発等の施策が市民の意識改革につなげていないというこ	計画の内容に反映します。 (反映内容) 文末に、「家庭生活の場」「学校教育」「社会通念・	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
			とを課題と認識して記載しています。これをうけて4次プランが必要と考えるため、文章を追加します。	慣習・しきたり」での男女の平等感が高まっていない <u>本質部分</u> で改善が見られません。 <u>課題を分析し、4次プランでは、こうした課題に対する様々な取組が必要で</u> す。と追加します。	
14	P 20 (3) 基本 目標②③⑤	ワーク・ライフ・バランスに対する言及がないのはなぜですか。	本プランでは、特にワーク・ライフ・バランス実現のための働き方改革、女性活躍のための家事・育児等の適切な男女の役割分担について重点を置いて施策に盛り込んでいます。しかし、これらを推進することで市民のワーク・ライフ・バランスを実現させるという視点も重要であるため、20ページ、「基本目標③ 男女共同参画社会の実現」の文中に「…男女が <u>平等に</u> 家庭的責任を担うとともにワーク・ライフ・バランスを実現できる環境づくりを進めます。」と改めます。	計画の内容に反映します。 (反映内容) P20「基本目標③ 男女共同参画社会の実現」の文中を「…男女が <u>平等に</u> 家庭的責任を担うと <u>ともにワーク・ライフ・バランスを実現できる環境づくりを進めます。</u> 」と修正します。	A
15	P 20 (3)基本目 標⑤	加害者へのフォローにも取り組む必要があると思います。今期での追加は無理でも次のプランにおいては	加害者支援への取組も必要と考えますので、国・県・他市町村の先進事例等を参考に今後研究をしてみたいです。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		ひごー考ください			
16	P 21 (4)重点項目 重点V	性的マイノリティへの配慮が言及されていますが、具体的にどのような取り組みをされるのですか？マイノリティというなら外国籍の人や障がい者の人権のほうが必要性は高いと思われますし、それらは男女共同参画になじまないというのであれば、デートDVの啓発のほうが必要度が高いと思います。	基本目標⑤(1) No.40 にて市民・市職員向けに啓発等を行います。 LGBTについては、国・県等のプランにも取り入れられているため、本市でも取り入れるべきだと考えています。 また、デートDVについては、基本目標②(1) No.9 にて情報提供・啓発を実施します。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
17	P 22 (5)プラン体系②(1) No.7	「保育者研修の実施」何を研修するのでしょうか。①(2)No.6に合わせてほしい。 また小中学校の教員に対する研修も必要ではないでしょうか。「保育者・教職員への男女共同参画研修の実施」としてはどうか。	保育者研修の内容は、男女共同参画に関する研修です。 この取組は、若いうちから男女共同参画の指導する効果が高いため、若年者を指導する立場の保育者への研修となっていますので、「保育者への男女共同参画研修の実施」に改めます。	計画の内容に反映します。 (反映内容) 第3章(5)プラン体系②(1) No.7 の取組を「 <u>保育者への男女共同参画研修の実施</u> 」に修正します。	A
18	同上	保育者に何の研修をするのか、明記していただきたいです。	小中学校の教職員は、国・県等の指導により男女平等意識は浸透しているため、必要性が認められないとの教育委員会の方針を尊重し、行いません。4次プランでは、生徒・児童への教育を充実します。		A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
19	P 22 (5)プラン 体系②(1) No.10	LGBT という言葉が唐突に出てきています。用語解説が必要だと思います。	LGBT の用語解説が必要と考えるため、P15 の文末に用語解説を入れます。	P15 の文末に用語解説を入れます。	A
20	P 23 (5)プラン 体系③(3)	家庭的責任という言葉が唐突に出てきています。用語解説が必要だと思います。ここにワーク・ライフ・バランスが入ることが望ましいです。	P14 に「家庭的責任」について説明を入れます。ワーク・ライフ・バランスと家庭的責任は違う行動となるため、この中に含めることは行いません。	P14 に「家庭的責任」の記述を入れます。	A
21	P 23 (5)プラン 体系③(3) No.26	このままでも読み流すことはできるのですが、24, 25 を踏まえて、「男性の働き方の見直し」とするとより明確になると思います。	多くは男性の働き方の見直しが必要な現状がありますが、4次プランでは、男性に特化せず、男女ともに対象としていきます。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
22	P 23 (5)④(1) No.32	講座の開催は参画促進ではなく、参加の呼びかけだと思います。項目として挙げるのはふさわしくないと思います。	この講座は、護身術を学ぶだけのものではなく、講座を受講した人が防犯の分野に興味を持ち、防犯の分野へ声を上げられるようになることを目的として設定しています。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
23	P 24 第 4 章 成果指標②の現 状値	P 25 についてもいえることですが、女性 26.3%というのはP16 の 26.4%と一致しないのではないのでしょうか。	P16 の数値の端数処理が違っており、差が出てしまいました。4次プランと3次プランの達成状況の数値を合わせるため、P16 の数値を修正します。	計画の内容に反映しません。 (反映内容) P16 基本目標 1 基本 施策 1-1 「男は仕事、女	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
				は家庭…」の女性の実績 値を 26.3%に修正しま す。	
24	P25 成果指標②	「『男は仕事、女は家庭』という考え 方に賛成・どちらかといえば賛成の市 民の割合」が現状値と目標値の差が女 性 8.3%に対して、男性 1.4%という はどのようにしてでしょうか。①では男女共 に 2%上昇前後ですが、②は男女で差 がありすぎるのはおかしいと思いま す。	男女の現状値と目標値の差は、男女の改 善率に差があるためです。 女性は、アンケート結果が、2004 年から 2016 年の数値に改善が見られないため、 2004 年の数値を目標値としました。 男性は、2004 年から 2016 年の数値に改 善がみられたため、その長期の下降率から 導き出しました。 以上のことから正しい数値となっていま す。	左記の市の考えに基づ き、計画の内容は従前の ままとします。	C
25	P27 成果目標①現状 値	女性 56.9%、男性 70.0%というのは P16 の女性 56.0%、男性 61.0%と一 致しないのではないのでしょうか。	P27 の現状値は P16 実績値を表記すべき ところ転記を間違えておりましたので、P27 の数値を修正します。	計画の内容に反映しま す。 (反映内容) P27 及び P42 基本目標 2 成果指標「学校教育の場 が…」の女性の実績値を 56.0%、男性の実績値を 61.0% 及び目標値を 65.2%に修正します。	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
26	P27 2(1) No.9	リーフレットの配布についてですが、安希の会と愛知教育大学とのコラボレーションで作成した資料以降の実態はありますか。	新規の資料は作成していません。しかし、パンフレットの名称や愛知教育大学の学生のイラストは継続で使用していますが、紙面の構成内容は見直し、毎年作成しています。		D
27	P27 2(1) No.10	説明文 3 行目には、「LGBT と言われる性的少数者」となっていますがP21 の下から2行目にある性的マイノリティと同じものを指すのでしたら用語は統一するべきだと思います。	「LGBT など性的少数者」で統一します。	計画の内容に反映します。 (反映内容) P21 下から2行目「LGBT など性的少数者への配慮…」と修正します。	A
28	P29 3(1) No.14	バンクがどのように活用されているのでしょうか？リストの公開、新規登録、更新、抹消などどうなっているのか知りたいです。	この登録リストは市役所各課が、審議会等の委員やワークショップ等の募集に活用しています。 登録リストは、個人情報保護のため非公開とし、個人情報保護に万全を期しています。		D
29	同上	市民参加パートナーバンクの登録者数（累計）は、増えていますが、更新は行われていますか。追加、抹消を定期的に行っていただきたいと思えます。個人情報保護法などの問題がありますが、どのように活用しているの	活用方法は、宛名ラベルを渡し、郵送しています。使用は通知発送に限り利用し、その他の目的には使用していません。 新規登録は、エンパワーメント講座、シル		D

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		でしょうか。また、情報を見たいときは、見ることはできるのでしょうか。	バーカレッジ等の講座修了生の希望者及び無作為抽出の市民に依頼文を送付し、申し込みいただいた方です。 更新は、講座の修了生は更新の必要はありません。また、無作為抽出の市民は、3年毎に更新希望の方は再度登録をいただいています。 脱退による抹消は、本人の意思等により脱退届を出された方等です。		
30	P32 3 (3) No.25.26.28	新規とありますが、No.25,26,28 は既にそれぞれP 43 に実績値がでています。どの点が新規になるのでしょうか。	各課にて取組は以前から実施されているものもありますが、男女共同参画プランとしては、4次から本取組を掲載していくことから新規としています。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
31	P32 3 (3) No.24.25.26.28	取組の項目に新規とありますが、どれも 2016 年に実施しているものばかりだと思います。43 ページ 2016 年実績に数字が書き込まれています。			C
32	P 34 成果指標	成果指標①②③に対する具体的内容がNo.30～39 の中に反映されていません。 No.31 の備品については危機管理課の担当と理解しますが、「防災会議な	成果指標は、それぞれの基本目標の成果を図るもので、必ずしも具体的な取組を設定していません。各取組を実施することで、成果に結びつくものと考えています。 また、防災会議の担当は危機管理課とな	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		どへの女性委員の登用」はどの部局が担当するのでしょうか。	ります。		
33	P34 (1) No.31	防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。とありますが、女性委員の登用率をここにも付け加えていただいた方がわかりやすいと思います。34 ページ 4 行目、成果指標②に書いてありますが、再度書いていただきたいです。			C
34	P35 (2)	三つある●のうち一つ目と三つ目については取組・内容が言及されていますが、 二つ目のリプロダクティブ・ヘルス／ライツのための具体的内容が記述されていません。	この 3 項目は、項目ごとに取組が設定されているものではありません。この理念を含めて実施していきたいと考えています。	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C
35	P37 (1)	性的少数者 (LGBT 等) となっていますが、P21 の下から 2 行目にある性的マイノリティと同じものを指すのでしたら用語は統一するべきだと思います。また () 内の「など」と「等」についても統一されることを望みます。	「性的少数者」「など」に統一させていただきます。	計画の内容に反映します。 (反映内容) P21 下から 2 行目 「LGBT(※)など <u>性的少数者への配慮</u> …」	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		す。			
36	P40 (2) プランの進捗管 理	<p>3行目「関係各課が連携を図り、横断的に取組を進めていきます」についてですが、市民協働課、商工課、生涯学習課などの連携をもっと積極的に行えば、イベントや講座の募集・人集めなどにお互いの情報を生かして有効活用できるのではないかと思います。現在は、残念ながら各々の課同士の連携があまりよくできていないような気がします。</p> <p>年々、講座の人集めが難しくなっているようですので、近隣自治体などとも更に密なる連携を図っていただけよう期待しています。</p>	<p>市役所各課相互に関連するイベント募集の配布等や情報共有しより一層の連携に努めます。</p> <p>また、近隣自治体との連携については、市民に限定しないイベントについては、チラシを郵送し、PRを依頼しています。今後機会をとらえて、連携する部分を検討していきます。</p>		D
37	P41 (3) 基本目標1 成果指数	<p>社会通念…男女平等であると考える市民の割合」ですが、このページだけ見ていると矛盾はないのですが、P16の過去年の実績値をみると、2023年の目標指数は低すぎると思います。2011年実績より10%近く、2017年目標より17%以上低いのです。せめて</p>	No.24の回答に同じ	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
		女性 30%、男性 35%くらいにあげてもよいと思います。 女性 2011実績 20.2% 2016実績 9.4% 2017目標 29% 2023目標 11.7% 男性 2011実績 32.8% 2016実績 21.9% 2017目標 41% 2023目標 23.3%			
38	P42 基本目標 2 No.9	リーフレット等の配布数 2,000 枚とありますが、配布だけではなかなか定着できないと思います。授業で取り上げる、ビデオ上映など DV について知る機会を増やして欲しいです。	市からは市内全中学 3 年生へリーフレットを配布していますが、P42 No.8、No.10 の取組の男女共同参画に関する指導及び LGBT 等に関する啓発と合わせて取り組んでいきたいと思っています。		D
39	P42 基本目標 2 No.10	LGBT 等に関する啓発実施率とありますが、研修会だけでなく、リーフレットの配布、授業、ビデオ上映など積極的に行っていただきたいと思っています。	ビデオ上映については、現場判断とさせていただきます。		D
40	P43 基本目標 3 No.24	P43「夫婦でのパパママ教室参加率」の 2016 年実績 92%というのは P17 の実績値 38.7%と一致しないのではないのでしょうか。	指標の名称は同じですが、指標数値の算出方法を変更したためです。 (指標の算出方法) 3 次プラン	左記の市の考えに基づき、計画の内容は従前のままとします。	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
			両親で教室に参加した初産婦数 ／全初産婦数 4次プラン 夫婦でパパママ教室に参加した妊婦数／ パパママ教室に参加した妊婦総数		
41	同上	2016 年度実施率 92%となってい ますが、17 ページパパママ教室への参 加率は、2016 年度 38.7%となってい ます。この数字の違いはどうしてです か。			D
42	P44 基本目標 4 成果指標	「町内会長に就く女性の割合」と 「防災会議の女性の登用率」につい ての言及がNo.30～39 の中に見当たり ません。	No.32 の回答に同じ	左記の市の考えに基づ き、計画の内容は従前の ままとします。	C
43	P44 基本目標 4 No.35	乳がん検診率をこれからの 6 年間 で 1%アップというのは少なすぎる と思います。2014 年の全国平均 26.1%、愛知県 21.3%をふまえて、せ めて 20%くらいにあげてもよいので はないでしょうか。	乳がん検診の受診率はほぼ横ばいで推移 しており、1%アップすることもなかなか 困難な状態にあります。乳幼児健診・イベン トでの啓発や健康教育など行うことで、 1%アップを目標とします。	左記の市の考えに基づ き、計画の内容は従前の ままとします。	C
44	同上	2023 年目標指標が 18%なのは、低 すぎるように思います。もう少し、高 めに設定した方が良いのではないで しょうか。			C
45	P44 基本目標 4	病児・病後児の指標が 1 園と書いてあ りますが、園数だけでなく、人数も加	人数については、確保の可否が制度改正 等に大きく左右されます。しかし、その動向	左記の市の考えに基づ き、計画の内容は従前の	C

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
	No.37	えていただくとわかりやすくなると思います。	を予測できない現状では適切な指標を設定するのが難しいため、記載を控えたいと考えます。 なお、ここでは病児・病後児の受け入れを継続して行う態勢を確保するという意味で、施設数を目標指標としています。	ままとします。	
46	P44 基本目標 4 No.38	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)の推進の指標項目が、「児童クラブ入会登録児童数」となっているが、この指標では、待機者がいるかどうかは読み取れない。登録数が増えても希望者数がそれを上回れば、待機者が存在するが、この指標ではそこは分からないのではないかと。	ご指摘のとおりこの指標では、待機児童がいるか判断できないため、指標を修正します。	計画の内容を修正します。 (反映内容) P36、P44 No.38 の指標を「 <u>児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どこの児童クラブにも入会できなかった児童の人数</u> 」にし、目標指標を○に修正します。	A
47	P44 基本目標 4 No.39	制度の周知件数が「2016 年実績 1 件」というのは、一人に知らせたということですか？説明会を一回行ったということですか？制度を利用した人が一人ということですか？わかりにくさを感じます。	2016 年実績は、市役所の全職員向けに周知を 1 回実施しました。今後は、職員研修等での周知を増やしていく指標としています。 わかりにくいとのご指摘がありましたので、指標の表記を「1 件」から「1 回」に修	計画の内容を修正します。 (反映内容) P36 及び P44 の No.39 の指標を「介護休暇制度の周知 <u>回数</u> 」に修正しま	A

(審議会資料)

番号	計画案の 該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見 区分
			正します。	す。	
48	同上	介護休暇制度の周知件数だけでなく、利用件数も知りたいです。また、介護離職数もわかれば知りたいです。	(介護休暇制度の活用状況) 介護休暇：2016年度(0人)、2017年度(1人) 短期介護：2016年度(3人)、2017年度(3人) (2018.1.1現在) 介護離職数は、退職者に理由は聞いていないため、把握していません。		D
49	P45 基本目標 5 No.43	資料配付だけでなく、具体例のわかる内容をビデオ上映などで周知できるようにしていただきたいです。	今年度より市内全 21 小学校に入学する新一年生の保護者へ入学健診時に説明予定です。いただいた時間の中ではビデオ上映はできないため、啓発物にて説明をしたいと考えています。	計画の内容は従前のままとします。	C
50	P 45 基本目標 5 No.45、46、47	非常に重要な項目だと思います。目標指数になじまないものですが、起こった時に的確に対応できるように、シミュレーションのようなものが実施されるように願います。特に 47 は細心の注意を払っていただきたいです。	マニュアルに基づいて、経験のある職員が、日々業務の中で様々なケースに対応しています。 No.47 については、細心の注意を払い職員が対応できるように努めたいと思います。		D
51	プラン概要版 2 (4) 基本目標 と成果指導・施策・取組	重点項目には☆マークがついていますが、第 4 次プランからの新規取組項目にもマークを付けていただくと見やすくなると思います。	ご指摘のとおり、新規の取組にもマークをつけ、わかりやすくします。		D

(審議会資料)